

報道関係者各位

令和元年9月2日

【照会先】

全国健康保険協会本部 研究室

室長補佐 佐井

主任 長谷川・飯地

(電話直通 03-6685-8226)

全国健康保険協会のレセプトデータ等を活用した分析結果の公表について

全国健康保険協会では、保険者機能の強化・発揮に向け、平成30年4月に第4期の保険者機能強化アクションプランを策定し、加入者の健康増進や医療費適正化に資するため、医療費データ等の分析を推進しています。

今般、加入者の受診行動や医療機関が提供する医療の内容等について、医療費適正化等に向けた情報発信を行うため、保有するレセプトデータ等を活用し、都道府県単位（支部ごと）の地域差を中心に以下の3テーマについて分析しましたので、公表いたします。

- ①協会けんぽにおける抗菌薬の使用状況の地域差
- ②協会けんぽにおける診療時間外受診の地域差
- ③協会けんぽにおける人工透析の地域差

また、医療費分析を進めるに当たり、協会加入者の支部ごとの年間医療費を診療行為群と疾患群の2つの要素から分解した「医療費構成表」を作成しましたので、あわせて公表いたします。

(添付資料)

- 別添1 分析結果の概要
- 別添2 協会けんぽにおける抗菌薬の使用状況の地域差
- 別添3 協会けんぽにおける診療時間外受診の地域差
- 別添4 協会けんぽにおける人工透析の地域差
- 別添5 参考資料：医療費構成表

(参考) 全国健康保険協会とは、健康保険法に基づいて設立され、国民の3.1人に1人、4,000万人を超える加入者と、約220万の事業所からなる日本最大の公的医療保険の保険者であり、主に中小企業等で働く方とその家族の皆様が加入している。